



この病院で最も大切なひとは治療を受ける人である  
The most important person in this hospital is the patient.

## 新しい治療の選択肢 — 薬だけではない「脳への刺激療法」

院長 鬼塚 俊明



うつ病や統合失調症などの治療といえば、多くの方がまず思い浮かべるのは「薬による治療」ではないでしょうか。実際、薬は精神科治療の基本ですが、すべての方に十分な効果があるわけではありません。

そこで最近注目されているのが、「**ニューロモデュレーション**」という新しい治療の選択肢です。これは、電気や磁気などを使って、脳の特定の部分に刺激を与えることで、脳の働き（神経伝達）を整え、症状を改善しようという方法です。現在、日本で医療保険が適用されている主なニューロモデュレーションには以下の二つのものがあります。「電気けいれん療法」と聞くと、驚かれる方もいるかもしれませんが、現在の治療は医学の進歩により安全性が大きく向上しています。

**修正型電気けいれん療法（mECT）**は、全身麻酔と筋弛緩剤を使用して安全に行われる治療で、脳にごく短い電気刺激を与えることで一時的なけいれんを起こし、脳内のバランスを整えたと考えられています。特に重いうつ病などに対して、薬で効果が出にくい場合の治療として活用されています。榊原病院でもこの治療を行う体制を整えています。

**反復経頭蓋磁気刺激法（rTMS）**は、頭に磁気コイルを当てて、磁気パルス（小さな磁気の刺激）を使って脳の特定の部位を刺激する治療法です。痛みはなく、麻酔も不要で、外来で受けられるのが特徴です。この治療は、薬で十分な改善が見られないうつ病に対して、2019年から日本でも保険適用となりました。うつ症状の軽減や集中力の改善などが報告されています。なお、榊原病院ではこの治療は行っていません。

最後に、保険適応ではありませんが、新しい治療法として注目されている**経頭蓋直流電気刺激法（tDCS）**を紹介します。こちらは頭に小さな電極をつけて、非常に弱い電流を流すことで脳の活動を調整する方法です。刺激はごく微弱なため痛みはなく、副作用も少ないとされています。研究段階ですが、今後さらにうつ病、統合失調症、さらには発達障害や認知症といった幅広い病気への応用が期待されています（注：この治療法の研究は榊原病院では行っていません）。

ニューロモデュレーションの大きな特徴は、薬だけでは改善しきれない症状にアプローチできることです。脳のネットワークや神経細胞の「つながり」を変化させ、脳の「可塑性（柔軟さ）」を引き出すことで、症状の改善を促します。私たち榊原病院では、患者さん一人ひとりに合った最適な治療を提供できるよう、最新の治療法を積極的に取り組もうと考えています。



# モンゴル国からの視察団来院 第2弾！

主任心理療法士 壁屋 康洋



2025年5月28日にモンゴル国より、国立精神保健センター臨床部門長、モンゴル裁判所判決総執行機関副長官ら7名が当院の視察に訪れました。

昨年2月の視察団来院以降、モンゴル国では依存症リハビリテーションセンターが設立される等、依存症者への支援制度が進んできています。その創設者、そして大統領に直接進言できる大統領顧問も含んだ視察団です。

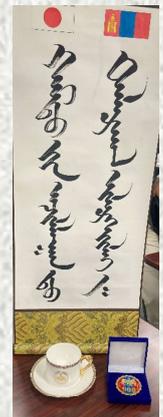
今回も三重ダルク市川代表のコーディネートで実現し、三重県こころの健康センター、三重刑務所、津保護観察所、三重ダルクおよび当院から各機関の取り組みと連携を紹介し、ディスカッションを行いました。当院は依存症対策総合支援事業の中で三重県での依存症治療拠点機関を担い、三重県の依存症専門医療機関の中で唯一薬物依存症への専門医療を担っていることを伝え、当院の外来治療・入院治療の概要を紹介しました。

昨年のセミナーでは医療費や責任機関など、制度面の質問が多かったのに対し、今年のセミナーでは入院治療プログラムに関する、より具体的な質問がなされました。薬物依存症クリティカルパスの1ヶ月の入院治療、アルコール依存症クリティカルパスの3ヶ月の入院治療の内容、認知行動療法や弁証法的行動療法、12ステップモデル（ミネソタモデル）など治療・支援法に関する議論、解毒期間についての議論もありました。

今回はモンゴル国からも薬物乱用者と治療の現状について報告頂きました。モンゴル国では解毒後の支援が乏しいこと、犯罪として扱われるために自助グループが安定しないことなどが報告されました。

当院には、かつて医療観察法医療の準備のためにイギリスで学んだスタッフが複数います。今度は逆に日本の医療を他国に伝える立場に立てたこと、とても光栄に思います。三重県での多機関連携が一つのモデルとして他国に伝えられ、当院の役割はますます重く感じられ、ブラッシュアップを続けたいと思います。

今度の掛け軸はモンゴル語で「協力に感謝します」と書かれているそうです。外来待合室に展示しておりますので、ぜひご覧ください。



## デイ・ケア案内

デイケアには、毎月最後の水曜日に「カレンダー作り」というプログラムがあります。デイケアカレンダーに、季節の飾りをつけて、デイケア室に飾ります。8月はひまわり畑ができました。

実は、今月の「カレンダー作り」に参加される方がいつもより少なめで、完成するのかしらと不安になりましたが、杞憂でした。どんどんひまわりの花が作り上げられ、時間より早く完成しました。文字を書く担当の方も、もくもくと作業されて、こちら時間も前に完成しました。皆さんの集中力のすばらしさを感じました。

カレンダー作り以外にも、病院のホームページや、外来に月間プログラム表がありますので、どうぞご覧ください。

8月のデイケアカレンダーは、ひまわり畑です。



こちらは調理プログラムで作ったピーマンの肉詰めです。とうもろこしはんとみそ汁で栄養バランスもばっちりです



## 栄養コラム

### 今年は猛暑の夏、だからこそ食べる夏野菜！

今年の夏は、特に暑いですね。そんな猛暑だからこそ、旬の夏野菜を積極的に食べましょう。旬の野菜は栄養価も高く、お値打ち食品でもあります。

そんな野菜の中でも、そのまま洗えば食べれるトマト、きゅうりがお手軽でお勧めです。野菜は全般的に水分含有量が多い食品でもあります。特にトマトやきゅうりにも多い食品です。トマトはカリウムやビタミンも豊富なので、毎日食べてもいいですね。

続いては、とうもろこしです。野菜の中ではカロリーがやや高めになります。調理も茹でる、焼く、蒸すなど電子レンジでの調理も可能です。とうもろこしは腸内環境を整える、食物繊維が豊富です。夏だからこそ、味わえる食材で、幅広くいろいろな食材に組み合わせも可能です。

他にも様々野菜があります。野菜は毎食摂取することを意識しましょう！



## 独立行政法人国立病院機構神原病院

〒514-1292 三重県津市神原町777番地

代表電話 ☎ 059-252-0211

地域医療連携室 ☎ 059-252-0660

訪問看護ステーションゆうはあと ☎ 059-252-0122

FAX 059-252-0411 HP <https://sakakibara.hosp.go.jp/>

FAX 059-252-0280

FAX 059-252-0126

